

電動ろくろを使って陶芸教室を 開催しました！

1日目の1月20日(土)につづいて2日目を2月17日(土)に前回同様午前の部と午後の部に分けてそれぞれ実施しました。この日は仕上げ(削り)の作業工程となります。

前回作った作品の裏や器周りを削って形を整えるのが今日の大きな目標です。まず、ろくろの中央に1日目で作った作品を裏向けにして置きます。作品がろくろ台の中央に収まらないといびつになると聞き、慎重にまたそおっと優しく設置。うまろくろの土台の中央に収まるようにろくろをゆっくりまわしながら人差し指や中指で作品に優しく触れながらきれいに回っているかどうかを確かめつつ微調整をして、作品を無事中央にセッティングすることができました。

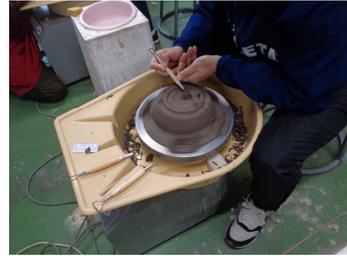
その後、粘土で軽く3カ所固定します。作品がずれないようにするためのものですが、固定の粘土の量や位置などを確認しながら作業を進めました。つづいて電動ろくろを起動し、ろくろ台を回し、レコード盤で針が動くように腕を固定し、決して刺してしまわないように力加減に気をつけながら線を引きます。手で支え固定することがポイントと聞きわずかながら手が震えたものの、何回かこなししていくうちにスムーズに動き出しました。次に線を描いたところ以外をワイヤーベラで削ります。あまり大胆に削ると穴が開くので、ここはわずかずつ根気よく削りつづけます。しかしながら、削りが足りないと焼いた折にひび割れてしまいます。緊張の連続で肩がこり、なかなか加減が難しい作業でしたが、指で厚みを確かめつつ、無事こなすことができました。

仕上げに削ったあとがざらついている部分をなくすために水を絞ったスポンジでなめらかにします。慎重に確実に焦らずに気をつけながらじっくりスポンジを当てていくとだんだん表面がつるつるになり、滑らかになってきました。完成です。この後、800度で素焼きをした後に、希望した色の釉薬をつけて1230度で本焼きをします。

完成が楽しみです。なお、完成した作品は、自然の家から作られた方に連絡をして後日引き取りに来ていただくことになっています。ご参加いただいた皆様は、きっと陶器ができあがるのを心待ちにされていることでしょう。お疲れ様でした。

所員一同、皆様のおいでを心待ちにしております。

午前の部の様子



午後の部の様子

